

あなたの街で、地域で、職場で、団体で 自主上映会を行いませんか！

ドキュメンタリー映画 放射線を浴びたX年後Ⅲ

Silent Fallout サイレント・フォールアウト 乳歯が語る大陸汚染



■ 1951年、アメリカ大陸ネバタ核実験場で大気圏内核実験が始まった。

計100回に及ぶ実験はアメリカ大陸を放射能汚染。それを実証としたのは女性たちだった。「子どもの命を守りたい」。彼女たちの思いと行動が国を動かした歴史的事実とともに、放射能汚染に向き合う30人の証言と4000ページに及ぶ当時の文書から、いまなお潜む、“サイレント・フォールアウト、見えない放射性降下物”の実態をあぶり出す。

ウクライナ戦争をめぐる核兵器使用の重大危機が迫っている今、核戦争絶対阻止、核兵器廃絶を市民の声から訴える映画です。

■ 監督 伊東英朗

ドキュメンタリー映画監督／テレビディレクター

映画「放射線を浴びたX年後」「放射線を浴びたX年後Ⅱ」を制作。

■ 上映資材は無料で貸出提供

上映会場、上映機材(プロジェクター等)だけ準備できれば、上映資材(DVDやブルーレイ)は無料で貸出され、上映会を催すことができます。鑑賞されるみなさんをお願いするのは任意の募金だけ。

人数が多くても、少なくても、気軽に開催して下さい。一つでも多くの会場で、一人でも多くのみなさんに観ていただきたい。これが私たちの願いです。



■上映時間 96分

■ご相談、お問い合わせ、上映会開催のお申し込み先

FALLOUT ?PROJECT 2 事務局 担当:酒井

☎090-3842-2956

メールアドレス xyears.info@gmail.com

原水爆禁止京都協議会 担当:平

京都「被爆二世・三世の会」 担当:平

☎075-811-3203

☎090-8824-0682

メールアドレス kyo-gensuikyo@ceres.ocn.ne.jp

♣ これまでの上映会で鑑賞されたみなさんの感想

- アメリカ全土でこんな事があった事、また60年たった今も続いている事、知る事、伝える事の大事さを感じた。今日は来て良かったと思えました。観るまではむつかしく、深刻でしんどい映画と思っていたら、見入ってしまい、わかりやすかったです。
- とても考えさせられるいい映画でした。核兵器の恐ろしさ実感しました。ぜひこの映画を日本中に、世界中に広め、多くの人に見てもらえるようにしたいです。
- ネバダ核実験で放出された放射性物質による汚染が米国全土にかつ長期間に渡って広がっていることが調査と証言でわかりやすく示されていた。被害者が当時の住民だけでなく子孫にまで及んでいるのもよく描かれていた。物見遊山で見物した市民や実験に駆り出された兵士が放射能被害に関する正確な情報が与えられないまま被ばくしたことは、政府の隠蔽とともに携わった科学者の怠慢が原因である。
- アメリカの行った原水爆実験の被害の実態は膨大なものだったと感じていましたが、乳歯の測定にかかわる大きな努力により、それがはっきりしました。ガン の出現の大きくなっていること。放射性降下物の測定から、証拠になるものと感じます。福島に汚染水を放出しているこの状況の中で、大変よい取組みをして下さってありがとうございました。

